

## 国立大学法人島根大学役員会（第388回）〈議事要録〉

日時 令和5年1月24日（火） 14:00 ~ 15:35  
場所 本部棟5階 大会議室（TEAMS 利用）  
出席者 服部学長，藤田理事，肥後理事，大谷理事，椎名理事，藤波理事，宮協理事  
オブザーバー 千家監事，栗原監事  
欠席者 上野理事  
〔陪席：企画部長，研究・地方創生部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長  
松江地区学部等事務部長，医学部事務部長，監査室長〕

### 議題1 第4期中期目標・中期計画の変更について

- 肥後理事から第4期中期目標・中期計画の変更について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

### 議題2 令和4年人事院勧告の対応及び職員給与規程等の一部改正について

- 藤田理事から令和4年人事院勧告の対応及び職員給与規程等の一部改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

### 議題3 安全保障輸出管理規則の一部改正について

- 大谷理事から安全保障輸出管理規則の一部改正について説明があった。
- 服部学長から，経済安全保障の適用範囲が広がってきているため，管理に綻びが生じないように，規則の運用の仕方の教職員への周知徹底について早期に取り組んで欲しいとの依頼があり，続いて宮協理事から新設の材料エネルギー学部は経済安全保障との関連で特に注意が必要との意見があった。
- 審議の結果，原案どおり議決された。

### 議題4 利益相反マネジメント規程の一部改正について

- 本件については取り下げとなった。

### 議題5 島根県農業協同組合との包括的連携に関する協定書の締結について

- 大谷理事から島根県農業協同組合との包括的連携に関する協定書の締結について説明があった。
- 服部学長から，今後の連携活動について，協定先のニーズに基づくシーズの提供も重要な連携であるが，それぞれが単独では難しいことを相互に補い合うことが連携の利点であるため，生物資源科学部とも相談しながら，大学側が主体的に行う取組も進めて欲しいとの意見があった。
- 審議の結果，原案どおり議決された。

### 議題6 第3期中期目標期間終了時における積立金（目的積立金）の取り崩しについて

- 藤波理事から第3期中期目標期間終了時における積立金（目的積立金）の取り崩しについて説明があった。
- 千家監事から新学部設置に伴う施設整備全体のスケジュールや予算等について基本計画の策定が必要ではないか，また現在公表されている中期財務計画についても基本計画が策定された段階で見直しが必要との意見があった。藤波理事から，文科省から施設整備費補助金が措置される予定であるため，この点も踏まえて全体計画の策定を進め，財務計画についても見直しを行ってきたいとの発言があった。
- 審議の結果，原案どおり議決された。

## 議題7 令和4年度補正予算(第2号)(案)について

- 藤波理事から令和4年度補正予算(第2号)(案)について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

### 協議事項1 定期モニタリングの実施について(安全保障輸出管理体制)

- 大谷理事から定期モニタリングの実施について(安全保障輸出管理体制)説明があった。
- 肥後理事から、リスト規制技術の保有状況調査に係る実施結果及び実施結果のフォローアップ体制の整備状況について質問があった。大谷理事から、令和3年10月～令和4年3月にかけて調査を実施した結果、総合理工学部と生物資源科学部の各1研究室で該当があり、結果については各学部長及び安全保障輸出管理委員会に報告している、また、本調査では対象となる物品等の保有の有無を確認した段階であるため、実際に技術提供等の必要性が生じた場合には改めて審査を行う体制となっているとの回答があった。
- 千家監事から、リスト規制技術の保有状況調査については規則上毎年実施することとなっているため、調査の実施について統制活動の内容として記載が必要との意見があった。
- 千家監事から、3.(5)の課題に対する改善状況として東北大学の教員にアドバイザーを依頼しているとの説明に対して、本課題は学内における専任の担当者の配置について議論されていたものであり、毎年の規制変更に対応していくため、出来れば学内の研究現場を理解している者を専任の担当者として育成することについて引き続き検討が必要との意見があった。大谷理事から、再雇用職員の活用も含めて専任の担当者の配置を検討したいとの発言があった。
- 服部学長から、3.(2)の課題に対する改善状況として、「安全保障輸出ハンドブックに代わるものとしてフローチャートを作成した」とあるが、フローチャートでハンドブックの内容を全て代用できるのかとの質問があり、大谷理事からハンドブックの改定に対応する内容をホームページ上に項目を立てたうえで、フローチャートで分かりやすく整理したものを掲載しているとの回答があった。
- 服部学長から、3.(4)の学生への教育に関する課題への対応については大学院生を対象としたものとなっているが、学部学生への倫理教育等の対応はどうなっているかとの質問があり、大谷理事から現時点では対応できていないとの回答があった。
- 服部学長から3.(4)及び(5)の改善状況が「済」となっているが、学部学生への倫理教育及び専任の担当者の配置について対応が不十分であるため「未済」とすべきであり、安全保障輸出管理はインシデントが発生した場合に大きな問題となるため気を引き締めて取り組んでいく必要があり、厳格なチェック体制で臨んで欲しいとの意見があった。
- 協議の結果、3(4)及び(5)の課題に対する改善状況については「未済」とし、引き続き対応を行うこととした。

### 報告事項1 内部統制システムに係るモニタリング結果の業務反映状況について

- 藤田理事から内部統制システムに係るモニタリング結果について、第383回役員会(令和4年9月6日開催)での意見を受け、各課題の具体的な対応状況について執行会議において確認を行い、そこでの意見を踏まえた業務反映状況について報告があった。

### 報告事項2 令和5年度予算(案)の概要について

- 藤波理事から令和5年度予算(案)の概要について報告があった。

### 報告事項3 公的研究費等の不正使用の防止に向けた啓発活動(令和4年度第4四半期)について

- 藤波理事から公的研究費等の不正使用の防止に向けた啓発活動(令和4年度第4四半期)として他機関で発生した不当事項の事例報告があった。

#### 報告事項4 附属病院運営状況について

- 椎名理事から附属病院運営状況について報告があった。

#### 報告事項5 会計検査院「令和3年度決算検査報告」について

- 千家監事から会計検査院「令和3年度決算検査報告」について報告があった。併せて、随意契約により契約の相手方を決定する際の契約手続に係る他大学での事案について、本件と同様なことが本学で発生しないよう、規則等の見直しを所掌部に要請しているとの発言があった。

#### 報告事項6 臨時監査（献体業務の管理体制について）の監査結果（中間報告）

- 監査室長から臨時監査(献体業務の管理体制について)の監査結果に係る中間報告があった。

#### 報告事項7 令和5年度役員会等の開催日について

- 藤田理事から令和5年度役員会等の開催日について報告があった。

#### 報告事項8 全学委員会の議事報告について

- 書面による報告があった。

#### その他

- 宮脇理事から、今後グローバル化が進んでいく中で海外のマナーや商習慣を知っていくことが重要となるとの発言があった。